



TCA

— NEWS —

Vol.95 12月号

発行
富山市民国際交流協会
〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号
CiCビル3F富山市国際交流センター内
TEL(076)444-0642 FAX(076)444-0643
発行責任者 広報・組織強化委員会

国際交流フェスティバル2019 in TOYAMA

富山駅とCiCビルで世界を体験！

令和元年11月10日(日) 富山駅&CiCビル



新春国際交流のつどい 2020開催!

新春恒例となりました新春のつどいを1月に開催します。
いろいろな文化体験をしながら楽しく交流しましょう!

- 日時 1月19日(日) 14:00~16:00
- 場所 富山市国際交流センター (CiC3F)
- 会費 会員・外国人 300円
一般 600円
高校生以下無料
- 定員 100名
- 内容 日本文化体験コーナー (日本の遊び、抹茶、ゲーム他)、世界の遊び、じゃんけん大会 他



私たちの活動説明会

一緒に活動してみませんか?!

- 日時 令和2年2月22日(土) 14:00~15:30
- 場所 富山市国際交流センター
- 内容 活動説明、体験談発表、ティーパーティー

※参加費 無料



募集中です!!

国際交流フェスティバル 2019

11/10
(日)

主催／国際交流フェスティバル2019実行委員会

共催／富山市民国際交流協会、(公財)とやま国際センター、JICA北陸

富山駅&CiCビル

「異文化理解と交流」を深めることをテーマに、富山駅とCiCビルの2会場で国際交流フェスティバルを開催しました。28の国際交流・協力団体と38の国と地域の方たちの参加がありました。

開会式では、主催者を代表して国際交流フェスティバル実行委員会 北東俊夫委員長の開会挨拶に続き、富山市長 森 雅志様（代理：副市長 今本雅祥様）からご祝辞をいただきました。今年は、ロシアのウラジオストクから舞踊学校の生徒等の訪問団があり、子どもたちの踊りで、華やかなオープニングとなりました。

富山駅会場では、16の国際交流団体と32カ国の各国紹介ブースが設けられました。世界の『ありがとう』のこトバを集める「ありがとうコレクション」や中国の花文字等の様々な文化を体験できるコーナーがありました。防災コーナーでは、新聞紙で防災スリッパを作りながら、防災について考えました。

CiCビル会場では、1Fアトリウムで外国人カラオケ大会をはじめとし世界の音楽や踊りを楽しみました。3Fでは、国際交流団体の活動紹介や着物・世界の民族衣装の試着など様々な体験コーナーがありました。

両会場を回るスタンプラリーもみなさん楽しんでおられました。今年は、東京2020オリンピックのポスターや東京2020応援プログラム（祭り）ガーランドを飾り、写真撮影ポイントを作りました。

観る・聴く

外国人のカラオケ大会から始まって、各国の様々な歌や踊り、演奏を聴くことができる贅沢な時間でした。定番のパラグアイのボトルダンスはとても美しくて個性的です。中国の歌手のきれいな歌声、たくさんの方が一緒に踊りながら楽しめたベトナムのバンブーダンス、他にも個性溢れる内容で多くの方々を足をとめて楽しんでくださいました。着物ファッションショーでは、初めて振袖を着た綺麗な外国の女性たちのコメントを聞いて、改めて着物の素晴らしさを感じました。後半ではトーゴの音楽、ボリビアの歌と音楽、アンデス民謡などプロの演奏で心が癒される時間でした。



※実際はA4サイズです。

ステージ

富山駅ステージ

- ① 開会式
- ② ロシアの子どもたちの踊り
- ③ 各国ブース紹介

CiCワールドステージ

- ① 外国人カラオケ大会
- ② パラグアイのボトルダンス
- ③ ネパールの歌と踊り
- ④ 中国の歌
- ⑤ 着物ファッションショー-1
- ⑥ ロシアの歌
- ⑦ ベトナムバンブーダンス
- ⑧ 沖縄の三線の演奏
- ⑨ マレーシアの歌と踊り
- ⑩ 着物ファッションショー-2
- ⑪ インドの踊り
- ⑫ トーゴの音楽
- ⑬ ボリビアの歌と音楽
- ⑭ アンデス民謡
- ⑮ 閉会式

交流する

<富山駅>

各国紹介ブースでは、工夫を凝らしたブースとなっており、来場者と楽しそうに会話していました。子どもたちが、恥ずかしそうに外国の人たちにありがとうコレクションをお願いする姿が愛くるしかったです。

<CiC>

ロシアンティーでは、民族衣装を着たロシアの訪問団の方々による紅茶やクッキーを楽しみました。テーブルセッティングがとてもかわいらしく、ロシアの文化も体験できました。ハワイアンカフェでは、おいしいコーヒーとともに生演奏を楽しみました。



ロシアンティー (CiC)



各国紹介ブース



知る

国際交流・協力団体が、富山駅とCiCビルの両会場で、パネル展示やバザーで活動の紹介やPRに努めていました。CiCビル3Fの富山国際学園サテライトオフィスでは、留学生や日本人学生による体験発表が行われました。

ロシア語スピーチコンテストは、普段の勉強の成果の発表の場ではありますが、学習者同士、またロシア語の先生方との交流の良い機会となりました。



団体活動紹介 (CiC)



団体活動紹介 (富山駅)

体験する

<富山駅>

中国花文字、結芸、ヘナ、エジプトのゲーム、フランス語や英語等での会話、ハングル文字でカードを作るコーナーがありました。外国の方から直接文化を学べるよい機会でした。観光協会の協力で甲冑体験もあり、多くの外国の方たちがサムライ体験を楽しみました。

<CiC>

今年は食品サンプル作りが加わりました。どのコーナーも小さな子どもから大人まで列が途切れず大盛況でした。



箸の手作り (CiC)



消しゴムハンコと習字 (CiC)



食品サンプル (CiC)



ヘナ (富山駅)



中国花文字・年賀はがき作り (富山駅)



ハングルカード作り・フランス語会話 (富山駅)

食べる

CiCビル前の移動販売車では、パキスタンのカレーやジャマイカのジャークチキンの出店で賑わっていて、カレーは午前中に完売しました。

1階のアトリウム横ではイタリアンジェラートの甘い香り、ベトナム料理の春巻きなどもとても美味しく人気でした。



ありがとうメッセージ

実行委員会事務局より一言

国際交流フェスティバル2019にご来場のみなさま並びに実行委員会ボランティアスタッフのみなさま、みなさまのおかげで、国際色豊かなフェスティバルにすることができました。本当にありがとうございました。

多文化共生事業

富山まつり「越中おわら踊り」 8月3日（土）城址大通り 参加者77名



連日の猛暑で熱中症の心配がありましたが、今年は若者の参加が多く心配無用でした。イマドキの若者は、全身が細く腰から下が長いせいか、昔ながらの浴衣姿がしっくりこない印象もありましたが、みんな熱心に踊りを覚え、おわらの調べに合わせて城址大通りを練り歩きました。最後の手を挙げる姿が何となく「ヤッホー」のポーズになっていましたが、それでも外国人が楽しそうに踊っている姿に嬉しくなりました。残念ながら入賞とはいきませんでした。令和最初の夏の楽しい思い出になりました。

日本語ボランティア登録者研修会 8月24日（土）参加者33名

「ロールプレイで会話」 場所：とやま市民交流館

今回はロールプレイでの指導法を学んだ。

役割を決めて演じて、機能・場面別に表現を学習後、ロールカードに従ってレストランでの注文の仕方や料理名を学んだ上で、会話文を練習する。シナリオドラマは小道具を使い、実際のレストランの演出をしてドラマを演ずる。これらの練習で、場面や機能が強く意識されてコミュニケーション意識が強くなり、体を動かして学ぶ方法は、生徒にとっても興味津々の授業となる。



外国語ボランティア養成講座 — 実地研修 —

9月7日（土）参加者 日本人36名 外国人4名

場所 魚の駅・生地^{いくじ}、生地清水めぐり^{しょうず}、魚津埋没林博物館、
アクアポケット、ほたるいかミュージアム

立山連峰がきれいに望める素晴らしい天気のもと、生地にある魚の駅を出発して清水めぐりや珍しい旋回橋、漁港の下をくぐる地下道などを地元の方に案内してもらいながら通訳の練習に励んだ。昼食の後、バスで魚津の埋没林館で神秘的な展示や蜃気楼の映画を見た。それから滑川のアクアポケットで深層水を試飲して説明を聞き、最後にホタルイカミュージアムで通訳練習をしたり足湯を楽しんだ。大変充実した心に残る一日だった。



MPBで学ぶポルトガル語講座 講師：白川 セリナ サナエ

9月10日（火）

「ブラジルの海の物語を歌いましょう！」

統計上、現在ブラジル人の65～75%ほどがカトリック教徒であるとされるが、ブラジルの宗教や文化はこのような数字で割り切れるほど単純ではない。先住民や、奴隷としてアフリカから連れてこられた人々、そして移民として流入した人々の文化が、形を変えながら受け継がれて現在のブラジルを形作っている。

今回の課題曲クララ・ヌネスの「Conto de Areia（海辺の物語）」では、屈強な海の漁師が女神イエマンジャーに魅了されて命を落とす悲劇が歌われる。アフリカに起源をもつイエマンジャーは、水に関係する複数の神々の性格を習合しながら、ブラジルの海の女神へと独自の進化を遂げた。人類に恵みをもたらす反面、猛威を振るって命を奪うこともある自然の二面性を象徴する神である。

10月7日（月）

「ブラジルの嘆き節に
耳を傾けよう！」

今回は先住民に由来する“ブラジルらしさ”を取り上げる。エリス・レジーナが「Querelas do Brasil（ブラジルの嘆き）」を世に問うたのは、軍政時代。先住民の言語に由来する地名や動植物名、名詞をひたすら列挙しただけのように見える（聞こえる）歌詞は、アメリカナイズされることによってブラジルの多様性が失われることへの懸念を表現している。思うに、アメリカの影響によって独自性（多様性）を失うことに対して、ブラジル人が抱く恐怖心や反発は、日本人よりもずっと強烈なようだ。

11月11日（月）

「サンバはブラジル人
だけのものじゃない！」

今回はブラジル人ではない人たちが歌うサンバに着目。Bellini（ベリーニ）というドイツ人グループが歌う「Samba do Brasil（ブラジルのサンバ）」のライブ映像を見た。白川講師いわく、ポルトガル語で歌われているが、ブラジル人にとって一般的でない単語や発音が聴こえるという。私の耳は鈍感だったが、見た目に限れば、歌手も聴衆も会場もヨーロッパ風だった。アフリカから出発したサンバは世界で愛されている。そういや我々にも「てんとう虫のサンバ」や「マツケンサンバ」があったっけ。

富山市総合防災訓練

事前研修会 講演会&ワークショップ 9月14日(土) 参加者31名

〈講演会〉

「災害時に外国人が直面する状況と対応 ～大阪府北部地震の事例から考える～」

講師 岩城 あすか さん

(一財)自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー
箕面市立多文化交流センター 館長

研修の前半は、講師の岩城あすかさんに、センターの多文化共生事業および大阪府内9つの国際交流協会からなる「国際交流協会ネットワークおおさか」の多言語支援センター設置訓練の様子、やさしい日本語、そして大阪府北部地震の事例についてスライドを交えながら説明していただいた。大阪府北部地震の避難所にある情報掲示物にはQRコードが印刷されていたというのには驚いた。

後半は、多くの情報から優先順位をつけ、取捨選択して翻訳する訓練を行った。英語、中国語、韓国語班にやさしい日本語班も加わり、限られた時間内で必要な情報を伝えることの難しさも実感した。



訓練に参加 9月28日(土) 富山県広域消防防災センター 参加者39名

避難所にいる外国人へのニーズ聴き取り訓練を行ったあと、災害ボランティア本部、避難所内要援護者スペース(保健センター)、応急救護所(医師会)での医師や保健師との会話を通訳する訓練も行った。普段あまり使わない用語や表現が多々あり、通訳の難しさを実感した。

体験の時間には四季防災館で地震等の体験や他機関の訓練を見学。参加した外国の方たちに、各言語でマニュアルを使いながら避難所等について説明した。外国の方たちには、避難所についてあまりよく知らない人が多く、機会を作って説明してあげることが大切だと思う。最後に避難所で発信される情報を翻訳し掲示する練習をした。限られた時間とスペースの中で翻訳するのは大変である。ポケットークによる訓練も初めて行い、普段から使い慣れておくことが大切だと思った。



外国語ボランティア養成講座 ー後期～富山の生活編～

●第1回「学校文化と外国につながる子どもたち」

10月26日(土) 参加者38名

前半 お話「外国人の保護者が戸惑うこと」

講師：ディニア モニカ さん(ハンガリー)、
碓井 エリザベス さん(オーストラリア)
グレッグ メイ さん(米 国)
銭 輝 さん(中国・当協会相談員)
宋 善珠 さん(韓国・当協会相談員)
白川 セリナ サナエ さん(ブラジル・当協会相談員)

6カ国の方々に、実体験や相談を通じ日本の学校で驚いたことや苦労を話してもらいました。以前は、子どもたちがたいへん苦労していると思っていましたが、保護者も子どもたちが周囲と違ったことをしていじめられたり、いやな思いをしないようにたいへんな苦労と努力をしていることを知りました。

ハンガリー、米国、オーストラリアと順番に話を聞いていくと、日本は宿題が多すぎて、先生が忙しくてたいへんだなあと思いました。次に中国や韓国のお話を聞くと、日本は緩いと感じ、国によって全く違うのだと実感しました。後半では、学校の行事について外国語で説明できるように勉強しました。

●第2回「災害に備えて～停電対策～」

11月30日(土) 参加者37名

前半 お話 「停電対策」

講師：富山県防災士会 副理事長 大坪清治さん

前半のお話の中で、通電火災による火災が、阪神淡路大震災の火災件数の半数にもものぼるといえるのは驚いた。地震等で停電になったとき、ブレーカーを落とすことが大切。しばらく停電が続き再度電気が通った際に、火災になることがあるからだ。たこ足配線も要注意。参加者のグレッグさんからは、外国人は、ブレーカーがどこにあるかわからない人が多いとのコメントがあり、そもそも外国の人たちに伝えるときに、日本人なら当たり前のことがそうでないことを説明する必要があると実感した。そして大坪さんが実際に常備しておられる防災対策グッズ(懐中電灯とペットボトルを組み合わせた灯りや新聞で暖を取る方法、ハエ取り、段ボールトイレ、ハンマー等)の紹介があり、震災を経験された参加者からのアドバイスもあった。後半は防災ブック「東京防災」の多言語版を使い最近の工夫を凝らした防災方法やその多言語表現を学んだ。

中学生英語講座

10月からの5カ月間（全15回コース）土曜日の午後に開催しており、市内の中学校1年生、42名が受講。ジャマイカ出身のモリシア・アレンさんとフィリピンからの国際交流推進員6名とともに、楽しく英語を学んでいます。



韓国文化紹介講座「韓国語カフェトーク」(上級)

講師 宋 善珠 当センター

9月15日(日)、10月20日(日)、11月17日(日)月に一度、新聞記事等を読んだり、翻訳をしたり、会話はすべて韓国語を使うようにしています。文化や新しい情報についても取り上げ、会話の輪を広げていきたいと思えます。韓国にくわしい方が多いので、貴重な情報交換の場ともなっています。次の講座は2月16日、ノルロ オセヨ（遊びにいらして）!!

委員会報告

姉妹友好都市

ダボ・リージョナル・カウンシル イアン・マカリスターさん富山訪問

レクリエーション&オープンスペース部部長のイアンさんが奥様と来富されました。イアンさんは、富山市大沢野日本庭園の担当で、庭園の維持にあたり、富山市にある庭園を見学したいとの希望でした。当時大沢野庭園を造られた新村さんと野上さんにも随行していただき、お二人推薦の庭園を見学。日本庭園の基礎や造園時の思いなどを織り込みながら3つの庭園を見学しました。イアンさんにとって実際に庭を造られた造園士の二人に会えたこと、新村さんと野上さん二人にとっても我が子のように思っている大沢野庭園の担当者がオーストラリアから遥々訪ねてこられたこと、この出会いはたいへん感動的なものでした。懇親会では、庭園の造園時の思い出やオーストラリアに訪問した際の話で盛り上がり、話がつきませんでした。イアンさんは、今回の訪問で見聞きしたことを庭園の維持に生かしたいと熱く語っておられました。



文化交流

日帰り交流会「市電に乗って文化交流」和口ウソク絵付体験と廣貫堂資料館見学

10月19日(土) 参加者 日本人12名 外国人7名

廣貫堂資料館と松住商店を訪れました。廣貫堂では約300年の歴史を学び、原料や歴史絵巻のジオラマを見ました。韓国人参加者が「『反魂丹』は韓国にもあるよ。」と言ったのに驚かされました。解説して下さった方曰く、「反魂」は死者の魂を呼び戻すという中国語で、室町時代に日本に伝わったそうです。

松住商店では、口ウソクに絵を描きました。参加者は話をする事なく、集中して描いていました。でき上がった作品を持ち帰ることができて、大満足しているようでした。



ボランティア

料理交流会「健康な身体作りは毎日の食事から」

9月3日(火)中央保健福祉センター 参加者日本人15名 外国人6名

血液がサラサラになるレシピでした。まず、管理栄養士の大場先生から“鉄欠乏性貧血予防の食生活”についてお話がありました。鉄を多く含む食品を食べることやよく噛んでゆっくり食えること、食事中や食後の濃いお茶やコーヒーは控えることが大切だそうです。

今回のメニューは、サバのピリ辛どんぶりにごぼうと小松菜のサラダ、豆腐のサンラータン、えごまのシフォンケーキでした。皆さん大満足で、初めて参加された方たちからもまた来たいとの声があり、うれしい限りです。



国際教養

多国言語文化交流クラス

◇ 8月3日(土) エジプト & アラビア語 講師 Dr. Ahmad El Desoky

エジプト人と日本人の考え方は全く異なる。日本では均一の教育を受け、周りとの調和が重んじられるが、エジプトは、古代エジプト、地中海、アラブの文化的背景がある。地理的にはアフリカ大陸に位置し、人種、文化のつぼであるばかりでなく、何度も外国の支配下に置かれた激動の歴史があり、多様性に富み、貧富や教育の格差が激しい。

エジプト人は多様性に対応するためか、よくしゃべり自己主張が強く、語学能力に優れ、物事を多面的に見る力があり、非常に柔軟な考え方をする。正確さを重んじる日本人には、相手をよく理解して付き合うことが必要になる。



ディスカバー富山

8月17日(土) 参加者 日本人18名 外国人3名

訪問先 民俗民芸村、長慶寺、五百羅漢

炎暑の続く中、久しぶりにディスカバー富山で民俗民芸村を訪れた。午前中は4つの博物館を訪れ、案内人の方の説明を交代で英語に訳していった。微に入り細に亘る説明は通訳するのに苦勞を強いられたが、こちらの知識を豊かにしてくれるものだった。昼食の後、長慶寺で座禅を体験した。10分の座禅がとても長く感じられたが、住職の説明で何かをつかんだような感じがした。最後に涼風に吹かれながら富山市街地を見晴らす呉羽丘陵の傾斜地に並ぶ五百羅漢を見学した。



英語プレゼンテーション

場所：当センター



国際教養委員会では、中国語、韓国語、ロシア語の様々なクラスもあります。ぜひ受講してみてくださいませんか。

◇ 9月10日(火)
"Life in Japan as an International student"
スピーカー：
Dr. Mati Ur Rehman
(パキスタン出身)

◇ 10月8日(火)
"There is a season for Everything."
スピーカー：
Mr. Kevin Moxey
(オーストラリア出身)

◇ 11月12日(火)
"Recorded Reading"
スピーカー：
Mr. Tadashi Jimbo



◆ 新規会員募集中 ◆

富山市民国際交流協会では、市民のみなさんが幅広く参加できる国際交流を推進するため、新規会員を募集しています。

みなさんも私たちの輪に入って、富山市の良さや国際交流の楽しさを一緒に発見しましょう！

ご入会特典

- ★協会広報誌TCA-NEWSをお送りします。
- ★各種イベントのスタッフとしてボランティア活動に参加し、外国の方と交流できます。
- ★語学講座や研修旅行、講演会に参加できます。

〈年会費〉個人会員 3,000円
家族会員 5,000円
法人・団体会員 10,000円

“勉強お助け隊” ボランティア募集

外国籍児童・生徒への学習支援事業として“勉強お助け隊”を開催していますが、宿題等を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

●毎週日曜日 10:00~11:45

委員会委員募集

6つの委員会(総務企画、姉妹友好都市、文化交流、ボランティア、広報・組織強化、国際教養委員会)に分かれて活動しています。各委員会では委員を募集中です。

お知らせひろば

お申し込み・お問い合わせは当協会まで
TEL 076 (444) 0642
FAX 076 (444) 0643

これからの講座・イベントカレンダー（12月～3月）

日時	講座・イベント	定員(名)	ところ	担当委員会	会費	対象
12月 3日(火) 10:00～13:00	料理交流会（3）「お正月の料理」	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
12月 7日(土) 13:30～15:00	多国言語文化交流クラス ベトナム&ベトナム語 講師 ホアン ティ チャム さん 富山県国際交流員	30	富山市国際交流センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
12月 8日(日) 13:30～15:00	日本茶入れ方講座	30	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
12月10日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Mr. Ismael Joe Kpoh (ガーナ出身)	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
1月14日(火) 18:30～20:00	英語D Presentation Ms. Amy Ether (スコットランド出身)	30	当センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
1月19日(日) 14:00～16:00	新春国際交流のつどい2020	100	当センター	合同	会員300円 外国人300円 一般600円	会員・外国人 ・一般
1月25日(土) 13:30～15:15	外国語ボランティア 養成講座後期③	---	当センター	---	無料	会員
1月26日(日) 14:00～15:30	国際交流TCAカレッジ 「ドイツにあって日本にないもの日本にあってドイツにないもの」 講師 カイ マルテンス さん	70	当センター	総務企画	無料	会員・一般
2月 1日(土) 13:30～15:00	多国言語文化交流クラス モザンビーク & ポルトガル語 講師 Eligio de Raus Maure. Ph.D.	30	富山市国際交流センター	国際教養	会員無料 一般300円	会員・一般
2月22日(土) 14:00～15:30	私たちの活動説明会	---	当センター	合同	無料	会員・一般
2月29日(土) 13:30～15:00	華道体験	20	当センター	文化交流	300円	会員・外国人
3月 3日(火) 10:00～13:00	料理交流会（4） 「韓国の料理」	20	富山市中央保健福祉センター	ボランティア	300円	会員・外国人
3月28日(土) 10:30～12:30	日本語ボランティア 登録者研修会	50	当センター	合同	会員無料 一般300円	会員・一般
3月	中国語集中講座	---	当センター	国際教養	未定	会員・一般

※ 休館日(12月～3月)・・・年末年始(12/29～1/3)、1月21日(火)、2月18日(火)・19日(水)、3月17日(火)

※ 行事については、ホームページ <http://www.tca-toyama.jp/> でご確認ください、協会までお問合せください。

【講座日程の変更】 次のとおり変更となっています。

中国語入門A 1月11日(土) 10:10～

中国語で話してみよう 1月18日(土) 13:30～

中国語入門B 1月25日(土) 10:10～

ロシア語入門初級会話 1月25日(土) 13:30～



おめでとうございます

令和元年度
とやま国際草の根交流賞受賞

石野 まり子 さん



編集後記

国際交流フェスティバルの時に、富山駅の南口と北口の連結が着々と進み、南北がこんなにも近く便利に！国と国、人と人が結ばれると便利に楽しくなっていくんだなと感じた次第です。

(青海)